

令和5年度主要事業

実施予定の主要事業と予算は次のとおりです。市でも積極的に取り組んでいる「SDGs」の各目標と関連する「令和5年度主要事業」の分野にアイコンを併記しています。



充実して暮らせるまち

駐車場の舗装整備工場の実施

新規 1億2600万円

文化会館・中央図書館・総合福祉会館利用者駐車場の未舗装部分を、排水設備を備えたアスファルトに舗装します。

国際化事業の充実

新規 260万円

外国籍住民アンケート調査や国際窓口設置により、市内在住の外国籍住民が安心して生活するための多文化共生事業を進めます。

豊かな学びを育むまち



不登校児童生徒の学習支援や心のケアの拡充

新規 1400万円

不登校校または不登校傾向の児童・生徒に、ICT学習ツールを活用した学習機会を保障します。各小・中学校の



令和5年度予算トピック 令和4年度補正予算と一体的に編成

物価高騰に対する経済支援事業のプレミアム付商品券発行などの一部事業を、前倒しで実施しました。前倒しした事業の予算額は23億2300万円、令和5年度の一般会計予算額と合わせると508億9000万円になります。

健やかに暮らせるまち



子ども医療費助成の対象年齢の拡大

新規 6500万円

医療費の高額化や子育て環境を取り巻く情勢の変化に対応するため、対象年齢を満18歳に達する日以降の最初の3月31日までに拡大します。

帯状疱疹ワクチン、特定不妊治療の先進医療の費用助成

新規 980万円

市民の健康増進を図るため、帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成

別室教室に支援員を配置し、児童・生徒の学習支援と心のケアなどを行います。

中学校完全給食の早期実施に向けた中学校給食の一部実施

新規 880万円

来年度の中学校完全給食実施に向けて、小学校給食を提供している食の創造館の予備能力を活用し、中学校給食の一部実施します。



安全で安心して暮らせるまち



消防署南分署建替事業の推進

3億6500万円

将来にわたり「安全・安心なまち」を維持するため、南分署の移転・建て替えを行います。

します。また、特定不妊治療の先進医療にかかった費用を5万円まで助成します。

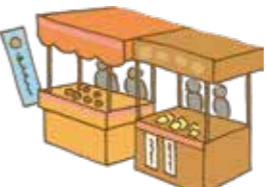
にぎわいがあり自然に優しいまち



にぎわい振興事業補助金の創設

新規 200万円

市のにぎわいをより一層創出するため、広く市民が参加できるイベントに補助金を交付します。



ゼロカーボンシティの推進

新規 860万円

令和32年度までにCO₂排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を達成するため、温室効果ガス排出状況の把握や再生可能エネルギー導入可能性などを調査・検討します。

消防団員への免許取得費用の補助

新規 100万円

災害対応の体制強化を図るため、準中型免許の取得費用を補助し、消防団車両の機関連員の確保と団員加入促進に努めます。



かがやきを創造するまち



公共施設再編(適正化)計画の改定

340万円

既存資料の時点修正をするほか、社会環境や財政状況の変化、国の策定指針の見直しを踏まえた計画の改定を行います。

便利で快適に暮らせるまち



市役所周辺地区一般保留区域の市街化区域編入事業の推進

新規 1700万円

市役所周辺地区の一体的なまちづくりを推進するため、開発行為などの促進に向けた協議と、都市インフラの整備に関する協議や調整を進めます。

市道3号線道路災害防除事業の着手

新規 6600万円

道路脇や斜面の崩落に伴う事故を未然に防ぐため、表層剥離などのおそれがある国分北三丁目市道3号線に道路斜面安全対策を行います。



市職員用スマートフォンの導入

新規 1000万円

内線電話機能があるスマートフォンを導入することで、市民サービスの向上や災害時の業務体制強化、デジタル化の推進を図ります。

新たな発見ができるまち



スマホ市役所の実装

新規 720万円

市LINE公式アカウントをイベントの申し込みや各種申請などが24時間365日できる「スマホ市役所」としてリニューアルし、利便性の向上を図ります。



スマート申請の拡充

480万円

市民総合窓口と福祉総合窓口、オンライン上で手続きが完結するスマート申請を拡充し、利便性を図ります。